

## 平成23年度津山工業高等専門学校有識者懇話会記録

1 日 時 平成24年1月30日(月) 13時30分～15時30分

2 場 所 津山工業高等専門学校 管理・一般科目棟2階 会議室

### 3 出席者

#### 外部委員

学校法人就実学園理事長	千葉 喬 三
美作大学長	船 盛 茂
津山市長	宮 地 昭 範 (御欠席)
岡山県美作県民局長	角 田 保 彦
美作地区中学校長会会長	岡 伸 之
津山商工会議所会頭	牧 野 大 作
津山圏域工業会幹事	友 末 誠 夫
津山高専同窓会会長	末 澤 俊 一
人形峠環境技術センター所長	岡 田 敏 夫

#### 学校関係者

校長	稲 葉 英 男
教務主事(副校長)	岡 田 正
学生主事(校長補佐)	杉 山 明
寮務主事(校長補佐)	吉 富 秀 樹
専攻科長(校長補佐)	福 田 昌 准
機械工学科長	佐 藤 紳 二
電気電子工学科長	植 月 唯 夫
電子制御工学科長	山 本 吉 範
情報工学科長(代理)	大 平 栄 二
一般科目(文科系)学科長	稲 田 知 己
一般科目(理科系)学科長	佐 藤 誠
地域共同テクノセンター長	田 辺 茂
教育システム点検委員会委員長	藪 木 登
事務部長	石 津 成 生
総務課長	田 川 隆
学生課長	藤 沢 博 伸
総務課課長補佐	笠 原 秀 起
学生課課長補佐	重 松 宏 明
学術・社会連携推進事務室長	井 上 修

#### 4 議事等

- 一 開会
- 二 校長挨拶
- 三 有識者懇話会委員及び津山高専出席者の紹介
- 四 日程説明
- 五 座長選出
- 六 津山工業高等専門学校現状と課題説明
  - 津山工業高等専門学校の取り組みと成果（校長）
  - 学生指導の取り組み（学生主事）
  - 技術者育成の基盤環境の整備（教務主事）
  - 寄宿舎北辰寮について（寮務主事）
  - 専攻科の現状（専攻科長）
  - 地域共同テクノセンターの活動（地域共同テクノセンター）
- 七 質疑応答・意見交換
- 八 有識者懇話会委員による評価
- 九 座長挨拶
- 十 校長挨拶
- 十一 閉会

#### 5 質疑応答・意見交換等

##### 【質疑応答】

**Q 専攻科生で学士の学位を取得して修了する学生の割合はどのくらいかお聞きしたい。**

A 全国的にみて学位試験の不合格率は3～5%くらいで、本校も同程度で、1年に1人いるかないくらいです。100%の合格率を達成したいのですが、できていない状況です。しかし、それは制度上の問題がありまして、10月頃に学位授与機構に対して学位申請を行うわけですが、まだ行っていない研究テーマを提出する場合があります、12月の試験までに学修が間に合わないということが起こり得ます。ですから、2月頃審査してくれれば卒論も全部できていて上手に発表もできると思うのですが、その点は制度上よくないのではないかと考えています。現在、高専機構全体で運動はしていて改善の方向へ進みつつあると思っています。

**Q 入試の倍率を確保することでアドミッションアドバイザーを配置されていますが、アドミッションアドバイザーの方はお一人ですか。また、その方は県北の方ですか。**

A はい、1人で、県北の方です。

**Q オープンキャンパスを実施する場合に県南の中学生の参加を促進するための方策があればお聞きしたい。**

A オープンキャンパスがやはり一番PRの機会としては直接触れ合うのに良いものと考えています。6月の初旬までには、県南も含めた岡山県内、兵庫県、広島県、鳥取県あたりの志願者確保できそうな地域に関しては、オープンキャンパス用のパンフレット等を送付し、また、志願者がいそうであれば手分けをして説明に伺っています。

アドミッションアドバイザーに県南の状況を調査・訪問してもらったり、校長先生にも県南へ出向いてもらっています。

また、県南出身の学生には夏休みに帰省した際に母校を訪ねてもらい、生の声を伝えてもらうなどの働きかけを行っています。

**Q 津山高専にはスカラシップ、奨学金制度はありますか。**

A 津山高専自体にはスカラシップ的なものは無く、いろいろな財団の公募に応募する方法くらいしかないのが現状です。授業料免除の制度はあるのですが、授業料免除されたというよりもスカラシップで貰ったという方が、履歴書にも書けますし、そういう方向へ持って行きたいと思っています。

そのためには財源の確保の必要がありますが、今度50周年事業を行いますので、その場でそういった制度を作れたらと思っています。

**Q 寮生と通学生の成績等の比較・分析はされていますか。**

A 寮生と通学生の比較のひとつに成績の比較がありまして、寮生の方が若干成績が良いという結果が出ています。

寮内で「寺子屋」という勉強会をやっています、優秀な先輩寮生が1年生に勉強を教えています。こういった取り組みが、寮生の方が若干成績が良いという結果の要因のひとつとなっているかもしれないと考えています。

**Q 学校として英語の公的な試験を受ける取り組みを行っていますか。**

A 学校全体でTOEICの団体加入をしてまして、学校全体で団体の費用を出しているため通常よりは2分の1程度のかかり安い価格で受けられるようになっています。

現在、1年生と3年生でTOEIC Bridge、4年生でTOEICを受験しており、専攻科も受験を推進しています。TOEICだけがすべてではないんですが、やはり外から見た時にはTOEICの点数というのは評価が高いので、どうしてもその資格を受験していくようになるのですが、年度当初お金を集めて自動的に受験するというをやっています。

今後は、卒業論文を全部英語で発表させる等、卒業するまでに1度は自分で発表す

る機会を設けようと考えています。特に高専生は受験がないので英語の単語もあまり覚えたりしないので、ある程度プレッシャーをかけるようなことをしないとイケないのではないかと考えています。

**Q 今後、県立高校などで自己推薦が廃止となった場合に、津山高専はどう対応するのかか決まっていることがあれば教えてください。**

A 岡山県の動向は本校でも気にかけていますが、本校としては9教科で4点平均、36点くらいの水準を保った推薦制度を続けていまして、県立高校の自己推薦に合わせているつもりはありません。ただ、本校の水準を保った上で自分で比較的簡単に推薦ができるようにし、学校推薦を通さなくてよい出願方法を採用し、一人、二人のためにわざわざ校長推薦のための会議を開いて津山高専に推薦するかどうかを決める中学校の負担を減らしたというのがあります。

我々としては一定の基準を持っているので、それを維持しながらやっていけば、そんなに大きな変更無しで対応していけると考えています。

**Q 学生の指導体制についてですが、1人の学生に4人(4重)の体制をしいているという説明で、非常に手厚いフォローの仕方に取り組んでおられるなど感心したのですが、そういった場合にそれぞれの立場からの助言・指導の仕方について連携が必要になると考えますが、そのあたりの取り組みはいかがでしょうか。**

A 連携に関しては大変難しい問題なんですけれども、1・2年生の低学年においては学年団、1学年4クラスありますが、学年主任を置いて横の連携を取りながら指導をしています。

それから、毎朝、連絡事項の伝達や情報共有のためにクラス担任全員による連絡会を行っているのですが、その集まりの中であの件どうなった、あの学生はどうしている等の話をしているのを見ますと教員間の連携に大変効果を得られているかもしれないと思っています。

**Q キャリアアドバイザーに対するカウンセリングはありますか。**

A 総合支援室という部署を設置していて、どこに相談すればよいか分からないときやどんな内容の相談でもいいから来てくださいという場所として機能しています。その支援対象者は、保護者も教職員も含んでいて、キャリアアドバイザーの先生方が相談等ができる体制は整っています。

また、メンタルケア等の研修が毎年あり、交代で出ていただくようにしております。

### 【意見交換・提案等】

●アドミッションアドバイザーの制度は、6年ほど前からあり、過去2名の元中学校長のアドバイザーの方を存じ上げていますが、県南の中学校は信じられないくらい津山高専を理解していないと言われておりました。おふたりとも言われるのが、我々が1回や2回訪問してもなかなか津山高専のことを理解してもらえないとのことでした。私としては、あまりいい方法ではないかもしれませんが、たとえばロボコン大賞であるとかそういうあたりで活躍していただいて、もっと知名度を上げていただくのがいいんじゃないかと思っています。

●卒業後には、津山圏域もしくは岡山県内の地元の工学系の企業等で活躍してほしい希望をもってまして、例えば、高専に在学しながら企業に1～2年短期で雇ってもらい、就職のルート化を図るといった制度等の取り組みを行っていただき、我々も是非協力していきたいと思います。

## 6 挨拶

### 【座長】

私自身前回2年前にこの懇話会に出席させていただきまして、その時非常に強く感じたことは津山高専がいい方に随分変わったなという印象を強く持ちました。今日のお話を伺って、さらにまたよくなったなと感じ、次々と改革を進めておられるのが分かりました。先程からのお話にありましたように問題はいろいろと残っていますが、なかなかよくやっておられるなというのが私の率直な印象です。

ご存知のとおり全国の高専はその存続も含めて非常に難しい問題を抱えておりまして、おそらく統廃合されていくだろうと思いますが、その時、この津山高専がちゃんと残って、中核的な高専として発展して行ってほしいと強く望んでおりますし、この勢いを続けていただければ必ずや乗り切っていけると考えています。

今日は先生方には大変お忙しいところ来て説明いただきましたが、私たち今日出席させていただいた者もいろいろな形でできることがありましたらご支援していきたいと思っておりますのでどうぞ頑張って下さい。

### 【校長】

本日は長い間、私共の課題、今後あるべき体質についてご意見をいただきましてありがとうございます。今日、皆さまからご助言いただきました内容をしっかりと実行していきたいと思っております。

座長の方から、今50年経って転換期にきているのではないかとのお話がありましたが、現実的にそうなんです。独立行政法人の存続、運営費交付金の削減等の大きな問題がある中、私共今教職員一丸となって高専のモデルになるような高専を作ろうと考えており、今

日いただいたご助言を大切にして本校の運営に活かしていきたいと思っております。今日は長い間どうもありがとうございました。